

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-502770(P2005-502770A)

【公表日】平成17年1月27日(2005.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-004

【出願番号】特願2003-527046(P2003-527046)

【国際特許分類】

C 11 D	7/30	(2006.01)
B 08 B	3/08	(2006.01)
C 09 D	201/00	(2006.01)
C 09 K	3/00	(2006.01)
C 09 K	5/04	(2006.01)
C 11 D	7/28	(2006.01)
C 11 D	7/50	(2006.01)

【F I】

C 11 D	7/30	
B 08 B	3/08	Z
C 09 D	201/00	
C 09 K	3/00	1 1 1 B
C 09 K	5/04	
C 11 D	7/28	
C 11 D	7/50	

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタン、および

(b) フルオロ化ケトン、

を含む共沸様組成物であって、

前記組成物が：

(i) 本質的に約12.5～約99.0重量パーセントの1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約1.0～約87.5重量パーセントのC₂F₅C(O)CF(CF₃)₂とからなり、約760トルにおいて約40より低温で沸騰する、組成物、

(ii) 本質的に約61.0～約99.0重量パーセントの1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約1.0～約39.0重量パーセントの(CF₃)₂CF₂C(O)CF(CF₃)₂とからなり、約760トルにおいて約40より低温で沸騰する、組成物、

(iii) 本質的に約73.5～約99.0重量パーセントの1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約1.0～約26.5重量パーセントのCF₃CF₂CF₂C(O)CF(CF₃)₂とからなり、約760トルにおいて約40より低温で沸騰する、組成物、

(iv) 本質的に約12.5～約95.0重量パーセントの1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロブタンと約5.0～約87.5重量パーセントのC₂F₅C(O)CF(CF₃)₂とからなり、約760トルにおいて約40より低温で沸騰する、組成物、

₃)₂ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物、

(v) 本質的に約 61.0 ~ 約 95.0 重量パーセントの 1,1,1,3,3 - ペンタフルオロブタンと約 5.0 ~ 約 39.0 重量パーセントの (CF₃)₂CFCC(O)CF (CF₃)₂ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物、および

(vi) 本質的に約 73.5 ~ 約 95.0 重量パーセントの 1,1,1,3,3 - ペンタフルオロブタンと約 5.0 ~ 約 26.5 重量パーセントの CF₃CF₂CF₂C(O)CF (CF₃)₂ とからなり、約 760 トルにおいて約 40 より低温で沸騰する、組成物、および

からなる群より選択され、

前記組成物が密閉式引火点を有さない、共沸様組成物。

【請求項 2】

本質的に：

(a) 1,1,1,3,3 - ペンタフルオロブタン、および

(b) フルオロ化ケトン、

からなる共沸組成物であって、

前記組成物が：

(i) 本質的に約 48.3 重量パーセントの 1,1,1,3,3 - ペンタフルオロブタンと約 51.7 重量パーセントの C₂F₅C(O)CF(CF₃)₂ とからなり、約 760 トルにおいて約 35.4 で沸騰する、組成物、

(ii) 本質的に約 79.0 重量パーセントの 1,1,1,3,3 - ペンタフルオロブタンと約 21.0 重量パーセントの (CF₃)₂CFCC(O)CF(CF₃)₂ とからなり、約 760 トルにおいて約 39.6 で沸騰する、組成物、および

(iii) 本質的に約 86.7 重量パーセントの 1,1,1,3,3 - ペンタフルオロブタンと約 13.3 重量パーセントの CF₃CF₂CF₂C(O)CF(CF₃)₂ とからなり、約 760 トルにおいて約 39.9 で沸騰する、組成物、

からなる群より選択される、共沸組成物。